



「選挙はおしゃれだ」

オリジナル啓発グッズで投票呼びかけ！

～武蔵大学インターンシップ生が参院選に向けて街頭啓発！～

事前のお知らせ

と き 7月9日（火）午後4時30分～ グッズがなくなり次第終了

と ころ 西武池袋線練馬駅周辺

どうしたら選挙に対する若者の関心を引き起こせるか？

練馬区選挙管理委員会（以下区選管）では、今までの啓発活動に加え「若年層向け」の企画を積極的に展開している。その一環として9日、武蔵大学のインターンシップ（就業体験）生 11人がタ方の駅利用客に向けて、街頭キャンペーングッズやチラシを配り、投票を呼びかける。

配布するのは、学生のアイデアから「若者向け」を狙ったスマートフォン関連のグッズで、機体を立てて置くためのスタンドと食品用保存袋。机に置いたり、風呂などの水回り周辺で動画を見るときに使えるもので、スマートフォンに親しむ若者世代にとっては必須アイテムという。

グッズに張られた「選挙はおしゃれだ」などのメッセージも学生たちが考えた。また、手に取って読んでもらえるようにと、キャラクターを表紙にした啓発チラシも作成し、一緒に配布するほか、選挙のキャラクター「めいすいくん」と練馬区公式キャラクター「ねり丸」の着ぐるみに自ら入ってPRする予定。

区選管は「インターンシップ生たちは、若者目線での様々なアイデアを考えながら、今回は2か月に渡り2つの選挙に協力してくれた。チラシやグッズを受け取った方々が、一人でも多く選挙を身近に感じられることを期待している」と話している。



食品用保存袋



若者向けチラシ



「ねり丸」と「めいすいくん」

【下がる投票率。投票率アップへ意気込む大学生たち】

練馬区の20歳代の投票率は、平成21年度執行の都議選で33.74%、平成25年6月執行の都議選では25.76%と、減少傾向を見せている。若者向けの啓発活動を続けているインターンシップ生たちも「地元商店街で呼びかけを行ったが手応えがなかった。今回はグッズを絶対手にとってもらい、『選挙に行くことがおしゃれ、かっこいい』と感じてもらえるように頑張りたい」と話している。

【武蔵大学インターンシップ生の取り組み】

区選管では、平成16年から区内にキャンパスのある武蔵大学（豊玉上1-26-1）からインターンシップ（就業体験）生を受け入れ、同世代の目線から若者層の投票率向上に結びつく啓発事業の企画・実施を担当してもらい、多くの実績を残してきた。

学生たちは5月1日から週1回の定例会で検討を重ねてきた。初めて選挙を迎える有権者に送る成人向け啓発ハガキや啓発用ウェットティッシュのデザインを始め、大学付近の町会との啓発活動、期日前投票所の立会人、港区の若者との交流会など、様々な活動を行っている。

今回の街頭啓発の後には、参議院選挙の開票作業を体験する予定。

【問い合わせ】選挙管理委員会事務局 情報啓発係 電話 03-5984-1019(直通)